



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和4年10月21日

10月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

「想像力」

校長 山内 清一

10月8日（土）、今年度の文化発表会を開催しました。合唱コンクール、小笠原・広島・ウィロビー派遣生徒による発表、吹奏楽部・演劇部の発表と素晴らしい文化発表会であったと思います。400名以上の保護者の皆さんに杉並公会堂までお越しいただきました。改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

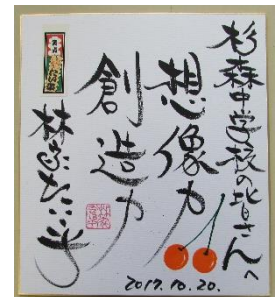
合唱コンクールの特別審査員は、昨年度に引き続き塚田真夫先生にお願いしました。東京都の中学校音楽教育に長年に渡って尽力され、合唱指導者としてもご活躍されている方です。専門家の立場からの審査と分かりやすいアドバイスもしていただきました。また、生徒の合唱に取り組む姿勢にもお褒めの言葉をいただきました。

さて、今回は私が前任校の杉森中学校に勤務していた時、創立70周年記念講演会での「林家たい平」師匠のお話を紹介したいと思います。

記念講演会では、「高校の先生との出会いから美術の先生を目指したこと。大学の教授から聞いた、『デザインは人を幸せにするためにある』との言葉に魅力を感じ、デザイナーを目指したこと。大学時代、ラジオから流れる落語を聞いて、『落語ってすごい』と感じ落語を使って人の心をデザインしようと考え落語家の道に進んだこと。修行時代に、『自分の気持ちを一つ変えただけで、世界が大きく変わり、たくさんの人を笑顔にできる』という事がわかったこと。人生には『なんで自分が』と思うことがあるが、『なんで』には必ず理由があり、『自分には無理だ』と思わず「挑戦してみる」とが大事であること。人とのコミュニケーションを図るには、ストレートの言葉だけでなく、変化球も大切であること』など、笑いあり、涙あり、中学生向けに分かりやすく話をしてくださいました。

講演会後の、色紙には「想像力 創造力」と書かれてありました。講演会の中で、そばやうどんの食べ方の違いを演じてくださり、味はどうなんだろうと考える場面もありました。たい平師匠は、「落語はシンプルな芸である。落語を楽しむには、想像力が大切である。落語を聴いて想像力が豊かになれば、いじめも戦争もなくなる。」ということ、「今の時代は映像や情報を簡単に入手できるので、何かを想像することが少なくなっている。これは、人の気持ちを想像することの欠如につながっている。」ということも話してくださいました。

文化発表会の中で各学級で取り組んだ合唱のことを考えてみましょう。合唱を創り上げるには、曲のイメージを想像し、相手の気持ちを考え、クラスの心を一つにする事が大切だったはずです。学んだことをただ単に覚えるだけでは自分の成長につながりません。得られた知識や経験をもとにして自分で考える力、想像する力を身につけていく必要があります。日常的に「想像する」という事を心掛けてほしいと思います。



《10月のアルバム》

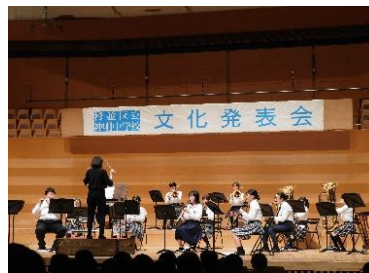
《文化発表会》10月8日(土)



各学年の合唱の様子



表彰式



吹奏楽部



中学生小笠原自然体験交流発表



広島平和学習中学生派遣発表



中学生海外留学発表



演劇部

《生徒総会》10月14日(金)



オンラインによる生徒総会

【11月の予定】

11/5	(土)	サタスタ (10時~12時)	17	(木)	期末考査 (数・英・美)
12	(土)	土曜授業	18	(金)	期末考査 (社・技家・音)
		サタスタ (14時~16時)	27	(日)	3年 (東京都)
16	(水)	期末考査 (理・国・保体)			スピーキングテスト